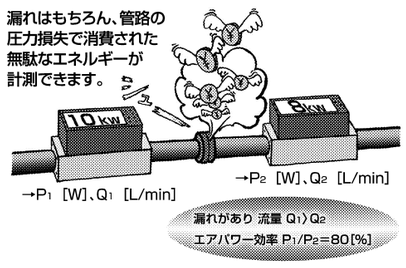
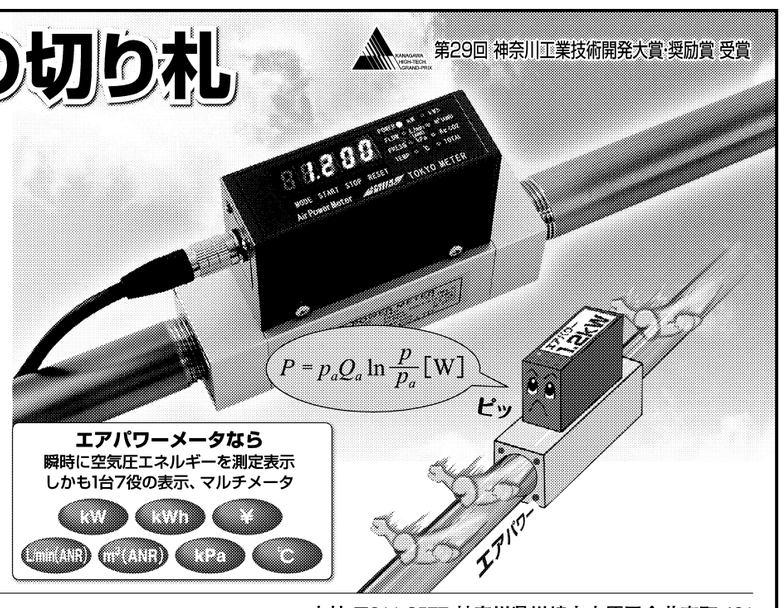
R32 新冷媒R32採用　●「nocria」は株式会社富士通ゼネラルの世界的な商標です。　みんなで節電　http://www.fujitsu-general.com/jp/ 富士通ゼネラル

節電の最後の切り札

空気圧エネルギーの測定器
エアパワーメータ

第29回 神奈川工業技術開発大賞・奨励賞 受賞





●省エネルギー対策として――
工場のラインごと、工作機械ごとのエネルギー消費量管理、時間帯ごとの消費状況や、圧力変動が見えます。
(別途：データロガーに記録)

エアパワーメータなら
瞬時に空気圧エネルギーを測定表示
しかも1台7役の表示、マルチメータ
kW　kWh　¥　L/min(ANR)　m³(ANR)　kPa　℃

http://www.tokyometer.co.jp　東京メータ株式会社　本社 〒211-8577 神奈川県川崎市中原区今井南町 461　TEL 044(738)2401(代)　TEL 044(738)2402(営業部)

アセコート超耐熱電線

【用途】
■工業用ヒーターリード線
■成形機・押出機・機器周辺配線用
■データ用ケーブル
■高周波誘導加熱ケーブル
■耐熱型同軸ケーブル
■半導体装置用ヒーター
■鉄鋼向け計装用ケーブル
■サーミスター用リード線

耐放射線性高温用センサーケーブル
クリーン対策(Max400℃)耐熱絶縁電線

耐熱電線の総合メーカー
日本耐熱線工業株式会社
代表取締役　石塚 敏夫
本　社　〒211-0067　川崎市中原区今井上町81-1
TEL.044-738-0215(代)　FAX.044-738-0450
E-mail: info@nittai.com　URL: http://www.nittai.com
北九州営業所／台北出張所

モノづくり〝革新〟目指す

インベンション（科学的、工学的な発見、発明）からイノベーション（科学的発見や技術的発明を洞察力と融合し発展させ、新たな社会的価値や経済的価値を生み出す革新）へ―。工都として100年にわたり京浜工業地帯の中核都市として長らく日本経済をけん引してきた川崎市。優秀な技術を誇る中小製造業を中心に「モノづくり都市」としてその存在感を高める一方、市内に200を超える研究所を擁する「研究開発都市」の一面もみせてきた。2011年12月には国から神奈川県、横浜市とともに、「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」の指定を受け、川崎市は「イノベーション都市」としてさらなる発展を遂げようとしている。

「総合特区」エリア拡大
医療分野の開発拠点に

高度な産業が集積

川崎市が成長分野として積極的に進めているのが「ライフイノベーション」。「総合特区」の指定を受けた川崎市殿町3丁目地区「キングスカイフロント」（43㌶）にライフサイエンス分野の研究拠点形成を進めている。さらに13年10月には「総合特区」のエリア拡大に伴い、新川崎地域（川崎市幸区）も特区の追加指定を受け、キングスカイフロントとの連携促進と相乗効果への期待も高まっている。

新川崎地域は研究開発型の技術力を持つ製造業、先端研究に取り組む企業や大学など高度な産業が集積するエリア。ナノ・マイクロテクノロジーを活用した革新的医療デバイスや医薬品の創出を主な事業とする。川崎市はこの地域をA―F地区の六つに区分、D地区には産学連携による新産業の創出拠点として「新川崎・創造のもり」の整備を進めている。

第1期事業では2000年7月に慶応義塾大学の先端的研究施設「K（ケイスクエア）タウンキャンパス」（敷地面積約1・6㌶）を開設、第2期事業では03年7月にベンチャーインキュベーション施設「かわさき新産業創造センター（KBIC）」（同約0・7㌶）を開設、第3期事業第1段階ではナノ・マイクロ産学官共同研究施設「NANOBIC」（同約0・88㌶）を12年4月に開設した。さらに、第3期事業第2段階として研究開発、産学連携・交流、研究活動を支えるアメニティーの各機能を備えた施設（同約0・92㌶）を次の展開として着手する。

第2段階事業は「創造のもり」事業の集大成と位置づけられている。大学などの優れた知識や研究資源を基盤に、先端産業の集積を促進し、あらゆる研究資源が集まる「連携・交流の結節点」の役割を果たす。また、集まった研究資源が有効的・効率的に連携する「オープンイノベーションの拠点」の役割も担う。

施設の整備・運営に当たっては、民間の資金や技術・ノウハウなどの積極的な活用を前提に、「川崎市民間活用ガイドライン」に基づき、定期借地権事業、PFI（民間資金を活用した社会資本整備）などの事業手法を検討する。

構想では、研究プロジェクトの進展に合わせた柔軟対応可能な研究開発スペースやインキュベーションスペース（研究開発機能）、多目的会議室（産学連携・交流機能）、入居者の研究活動を支える飲食・物販スペース（アメニティー機能）を導入する。

今後の整備スケジュールは事業方法によって異なるが、14年度―15年度に事業者の選定手続き、15年度―16年度に設計・建設、17年度中の供用開始（維持管理・運営）を予定している。

「創造のもり」第3期事業第2段階の建設予定地（川崎市幸区）

一方、「特区」の核となる「殿町3丁目」には研究開発施設（中核施設）として11年7月オープンの「再生医療・新薬開発センター」、13年3月末に運営を始めた「川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）」が環境・ライフサイエンス分野の先端技術で同地区を先導する。

研究施設を整備

さらに14年度の運営開始を目指し整備を進めている「（仮称）ものづくりナノ医療イノベーションセンター（iCON）」や日本アイソトープ協会の研究施設、ジョンソン・エンド・ジョンソン川崎サイエンスセンター、国立医薬品食品衛生研究所など同地区への進出計画がめじろ押しだ。

13年11月に起工式を終えた「iCON」は同年3月29日に国の補助事業に認定された。交付金は35億円（施設整備費25億円、機器整備費10億円）。事業者兼提案者の川崎市産業振興財団と提案者の東京大学、東京工業大学、東京女子医科大学、国立がん研究センター、実験動物中央研究所、富士フイルム、ニコン、ナノキャリア、神奈川県、川崎市の産学官連携によるコンソーシアムの整備事業。

「iCON」は産学官の医工連携で難治療性疾患の診断・治療法を開発するのが目的。研究内容は①均質高付加価値医療を実現するナノ医療技術の開発②ナノ医療技術を広く普及・浸透させる社会実装研究③多様化する社会ニーズにこたえるためのソリューション実証研究―などだ。

具体的には我が国の強みであるナノテクノロジーを活用し、医療的・産業的インパクトの大きい3領域（医薬品、診断・治療機器、再生医療支援）でナノ医療技術の実用化を目指す。また、ナノ医療技術を社会に広く普及・浸透させるための評価・審査基準策定、医療経済性評価、支払いを含む産学官ビジネスモデル構築による早期の社会実装を目指す。さらにナノ医療技術によるソリューションを国内外の医療機関・市場で実証使用して、その解析データを先制医療や副作用を抑制するなど患者への快適な治療等の実現に活用するサイクルを構築する。

年度内の運営開始を目指す「（仮称）ものづくりナノ医療イノベーションセンター（iCON）」

知財活用へ交流会

「川崎モデル」として多くの自治体から注目を集めているのが、川崎市の「知的財産交流会」だ。大手企業の開放特許を活用した中小企業の創出支援で、中小企業が〝仕事づくり〟として付加価値の高い新製品開発や新事業の創出に役立つものといえる。知的財産を活用した産業振興の基本的な方向性を定めた「川崎市知的財産戦略」の一環で、川崎市がコーディネーターの役割を果たし、大手企業と中小企業とのマッチングやフォローアップを図る。行政がきめ細かく関わるのが特徴で、全国でもユニークな試みとして高い関心を呼んでいる。同会に参加する大手企業は富士通、東芝、NEC、日立製作所、日産自動車、ミツトヨなど13社。現在、20件の成約をみており、そのうち12件が製品化している。

川崎市は4月23日に川崎中原工場協会（矢野和昭会長）、高津工友会（山田勝己会長）とミツトヨとの知財交流会を開いた。ミツトヨ法務部知的財産管理課の植田兼史氏が半導体レーザーの高周波重畳動作検査装置など5件を紹介、「すぐに取り組める特許はある。製品化の話があれば対応したい。測定機関係で販路を紹介できる」と期待を寄せている。

知的財産交流会で中小企業の新事業支援

未来を拓く夢のある会議所に
魅力溢れる会議所に

川崎商工会議所
会頭 山田 長満
川崎市川崎区駅前本町11-2
川崎フロンティアビル 3F
TEL 044-211-4111(代)

電気三輪自動車 エレクトライク
地球にやさしく、お財布にもやさしい

環境関連技術の見える化を図る
かわさき環境ショーウィンドウ モデル2013 採択

STOP THE 地球温暖化・進まないCO2削減・電気自動車普及
不安定な三輪車を、安全運転可能に
川崎市内の宅配事業、建設業、雑貨販売業での実証実験

■ 工業・船舶用ガス検知の製造・販売
http://www.toka-seiki.co.jp
TOKA 株式会社東科精機

■ トラックの後ろが見える「リアヴューモニター」
http://www.nvt.co.jp
株式会社日本ヴューテック
〒211-0066 川崎市中原区今井西町93-3　TEL044-722-2211

■ 電気三輪自動車の開発・製造・販売
http://www.e-tric.co.jp/
株式会社日本エレクトライク

tok 東京応化工業株式会社
〒211-0012　川崎市中原区中丸子150番地
TEL:044-435-3000　FAX:044-435-3020
東京応化は微細加工技術を通じて、
「感動の創造」に挑戦し続けます。